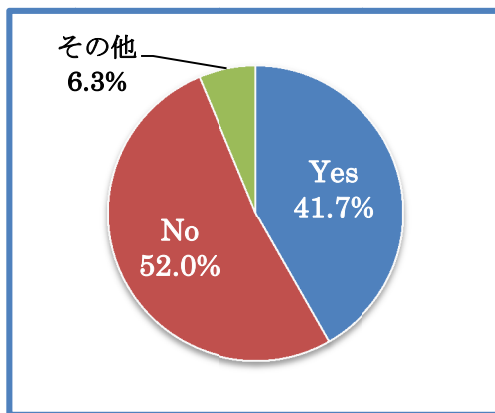


就活生の皆さん！いま目指している仕事は、生まれ変わっても、本当に、就きたい仕事ですか？

現役世代は「過半数が生まれ変わったら別の仕事に！」と回答

～ ビジネスパーソン約 1500 名にアンケート／憧れの仕事は・・・「職人」！？～

主に企業向けに研修を展開する株式会社インバケット研究所（東京本社：東京都江東区青海代表取締役 鳥原隆志）では、2016年1月～2016年12月の間にインバケット研修（※1）を受けた各業界のビジネスパーソン 1552名を対象にアンケート調査を行いました。（※2）その結果、「生まれ変わるとしたら、また現在の職業を選びますか？」との質問に52%の方がNo（いいえ）と回答し、過半数の方が、生まれ変わったら別の仕事に就きたいことが明らかになりました。理由としては、「色々な経験をしてみたい」「今とは異なる仕事がしたい」「（何に就くかは）新しい考え方で判断したい」などが挙げられていました。



順位	仕事	割合
1位	職人	8.8%
2位	経営者	7.2%
3位	スポーツ選手	6.7%
4位	公務員	5.5%
5位	医者	5.3%
	開発職	5.3%
	教育関連	5.3%
	研究職	5.3%

一方、生まれ変わったら就きたい仕事のランキングは、上記のような結果となりました。ランキング以外でも、志として「困っている人を助けられる仕事」や「夢を与えられる仕事」「海外を飛び回る仕事」など、誇りを持った仕事をしたいとの声が多く見られました。

この結果に関して、弊社代表で「インバケット思考」著者でもある鳥原隆志（※3）は、「別の仕事に就きたい理由に、色々な経験をしてみたいとあるのは、自身の能力が十分に発揮できていないか、または評価されていないと、漠然と感じているビジネスパーソンが多いからだろう。また、ビジネスパーソンが職人に憧れるのはホワイトカラーとしての自身の技能だけでは将来への不安を払しょくできないとの思いがあり、企業や組織に依存しないために職人として個人の力をつけたいからと思われる。しかし、結局は自らの得意とする仕事や能力が発揮できる仕事と、実際にしている業務とのギャップがこの結果に結びついているとも言える。これからは一人一人が自分の潜在能力をより把握したうえで、キャリア形成をするべきではないか」と分析しています。

この結果を現在就職活動中の学生の皆さんにも、大いに参考にさせていただき、自らの将来像を改めて見直す機会にさせていただければ幸いです。

株式会社インバケット研究所 東京本社（代表取締役 鳥原 隆志）

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-32 タイム 24ビル 17階（03-5579-6555）

◇広報担当者： ^{ばい} 唄 麻里絵（大阪本社 072-242-8970）

（ご参考）

◇具体的な職人像について

植木職人（40代、男性）

刀鍛冶（40代、女性）

神職（年代、性別：不明）

寺門の仕事（50代、女性）

伝統産業を作る、継承する職人（40代、男性）

山岳ガイド（40代、男性）

◇その他

戦闘機パイロット（40代、男性）

巨人の4番（30代、男性）

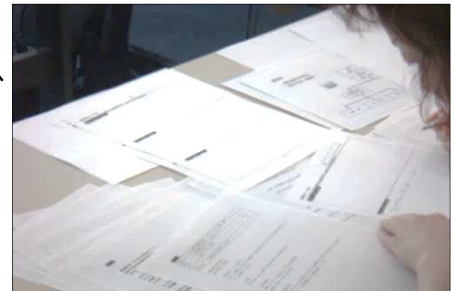
画家（30代、男性）

【「インバスケ」とは】（※1）

まだ決済がされていない書類が入った「未処理箱」を意味します。

1950年代、アメリカ空軍で導入され、制限された時間内に主人公の立場になりきり、お客様からのクレームや部下からの相談など、どの職場でも起こりうるような案件を、的確に、かつ迅速に、精度高く処理を行うことができるのかを測るビジネスシミュレーション教材です。

学習した知識が、実際の現場で発揮・活用ができるかどうかに加えて、被験者の職場における“今の能力”や“潜在能力”を測定することができることから、大手企業の昇格試験をはじめ、中小企業や警察機関をはじめとする官公庁での研修など、弊社では419の企業・団体に教育ツールとしてご提供しています。



【調査の経緯】（※2）

インバスケ研究所では年間約300回の研修を行っており、毎回の研修で受講者の方にアンケートを取りました。今回、2016年1月～2016年12月までの間、合計1552名の方々からご回答いただきました。その構成は次の通りです。男女比（男性78.2%女性13.4%）、年代比（20代10.9%、30代33.5%、40代35.1%、50代11.5%）

ほとんどがリーダーの経験があるか、その素質があるとされているの方々です。彼ら彼女らの日頃の行動を調査し、次世代の参考にしたいと考え、調査を開始しました。

【調査項目】

「年齢」「性別」「出身学部」「現在の悩み」「部下に伸ばして欲しい能力」などを調査しました。

【 弊社代表 鳥原隆志 プロフィール 】（※3）

1972 年生まれ。大学卒業後、株式会社ダイエーに入社、販売部門や企画部門を経験し、10 店舗を統括する食品担当責任者（スーパーバイザー）として店長の指導や問題解決業務に従事する。管理職昇進試験時にインバケットに出会い、自己啓発としてインバケットトレーニングを開始。

日本で唯一のインバケット教材開発会社として、株式会社インバケット研究所を設立し代表取締役役に就任。法人向けのインバケット教材開発と導入をサポートする、日本のインバケット・コンサルタントの第一人者としてテレビやラジオに出演し、ビジネスマンの行動分析をするなど活動中。

これまでに執筆した著書は 30 冊以上累計 50 万部を超え、作成したインバケット教材は、優に腰の高さを超える。国内外での講演や研修実績多数。延べ受講者数は 12,000 名以上を数える（2016 年 6 月現在）。

《代表作》

『究極の判断力を身につけるインバケット思考』

（WAVE 出版、2012 年ビジネス書大賞 書店賞受賞）

『複雑な仕事をシンプルに解決するための「洞察力」の磨き方』（WAVE 出版）

『すごいプロセス』（三笠書房）



【 インバケット研究所（2009 年 11 月設立） 】

◆事業内容

- ・インバケット法を用いた個人・法人向け教材開発・販売
- ・インバケット法を用いた人材育成並びに能力開発に関する各種セミナーの企画・運営
- ・インバケット法を用いたヒューマンアセスメントに関する情報、サービスの提供

◆研修実績（当社主催研修・企業研修含む）

- ・2015 年（1 月～12 月）
189 回
- ・2016 年（1 月～12 月）
266 回